



横浜陶芸友の会だより

第 193 号

令和 7 年

5 月 12 日発行

「総会を終えて」

横浜陶芸友の会会長 鍋島 弘義

令和 7 年 4 月 26 日（土）に
杉田地区センターにおいて
「総会」が行われました。
今年度から、役員の方には
長時間になり負担を、おかけ
いたしました。終了後、休憩をは
さみ「総会」を行うようになりました。資料
も「役員会」で使用したものを訂正したまま
総会の資料といたしました。



「総会」の出席者は 7 名と役員会のメンバ
ーがそのまま残る形になりました。

内容的には「役員会」で話し合われた議題
の再確認のような形になり、「総会」での議案
は全て承認され、滞りなく終えることが出来
ました。ありがとうございます。

来年度も、「役員会」終了後に休憩をはさみ
「総会」を開催する予定です。

議案としては、各部の活動報告・今年度の
活動予定、会計の決算・予算、会則の一部改
訂などありますので詳細は、各報告の欄をお
読みください。

「総会」が終了し、令和 7 年度の活動が始ま
りました。

今年度の主なイベントとしては、「第 46 回
作品展」が来年の 1 月に「かなつくホール」
で開催する予定で動き始めました。7 月初旬
の申し込みで日程が決まります。

専修部の「秋期焼成会」は猛暑を避け 9 月
末に受付を始めます。今年もまた井上様の場
所と窯をお借りして行います。

また、専修部で保管している釉薬の材料も
整理して会員の方に還元していく方向で検討
しています。内容が決まりましたら会報等で
随時お知らせしていきます。

関東学院大学の「関キャンfes.」は

11 月 1〜2 日と日程だけが決まっています。
詳細が分かり次第会報で間に合わない場合に
は、ラインやメール、電話などお知らせいた
します。また、作品の出展等をお願いする可
もしれません。

よろしくご協力お願いいたします。

目的が無いと何かとやるのが億劫になる
ようになってきた今日この頃です。
そうならないように目的を作りましょう。

総務部 2024 年度 活動報告

総 務 部	広 報
4 月 16 日（土）役員会（総会に向けて）	
5 月 25 日（土）総会	
6 月 13 日 「友の会だより」5 月号（189 号）の発送	6 月 12 日（189 号）発行 ・総会の報告 ・決算・予算書 他
7 月 27 日（土）役員会	
8 月 15 日 「友の会だより」8 月号（190 号）の発送	8 月 15 日（190 号）発行 ・秋期焼成会案内 ・関東学院 fes 案内 他
10 月 27 日（土）役員会	
11 月 28 日 「友の会だより」11 月号（191 号）の発送 「第 45 回作品展のご案内」の発送	11 月 15 日（191 号）発行 ・「焼成会」報告 ・作品展案内 他
2 月 8 日（土）役員会	
3 月 日 「友の会だより」3 月号（192 号）の発送	2 月 28 日（192 号）発行 ・「作品展」報告 ・「44 回作品展」紹介 他

「令和 7 年度総会」《議事報告》

4 月 26 日（土）17 時より、杉田地区センタ
ー集会室 A において、出席者 7 名により行われ
議題はすべて承認されました。

「議長」鍋島弘義 「記録」鈴木貴久

《議事》

令和 6 年度 各部の活動報告

「総務部」より

「事業部」より

事業部 令和 6 年度活動報告

- (1) 関東学院大学「第2回関キャンfes」
※詳細は「会報191号」に掲載しました
(会期) 2024 年 11 月 2 日(土)・3 日(日)
(会場) 関内キャンパス(2階ギャラリー)
(出展者数) 7 名 (展示協力者) 2 名
(陶芸教室) 技能文化会館 6 階陶芸教室
・指導者 4 名
・受講者 大人 1 名/子供 4 名(保護者含め 8 名)
・2024 年 10 月 3 日 実施内容の打合せ
・2024 年 11 月 21 日 大学側との反省会
関内駅前第一ビル 2 階 7 名参加
- (2) 「第45回作品展」報告
※詳細は「会報192号」に掲載しました
(会期) 2025 年 1 月 14 日(火)〜19 日(日)
(会場) かなつくホール 3 階ギャラリー A
(出展者数) 13 名 (名簿記入者数) 145 名
(作品数) 203 点 (課題)「角皿」11 点
- ※役員会前の資料作りの事業部部会は、ほとんどメールで行いました
・7 月「かなつくホール」申込み
・12 月「かなつくホール」打ち合わせ
・1 月「作品展準備」貝森事務所
・2 月「第45回作品展」報告資料確認

「専修部」より

専修部 令和 6 年度活動報告

- ・「友の会だより」への原稿送信
※2 月 19 日「秋期焼成会予定」を送信
※8 月 15 日「友の会だより」原稿を広報部へ
「秋期焼成会のご案内」を送信
※「秋期焼成会」(会場) 井上宅

(日程)

9/29 (日) 10:00~受付、素焼き済の方は釉掛け
10/3 (木) 10:00~素焼き 6 日 (日) 10:00~釉掛け
7 日 (月) 16:00~第 1 回本焼き 11 日 (金) 16:00~第 2 回本焼き
20 日 (日) 10:00~引渡し、懇談会

(結果 参加者数ほか)

	参加者数	作品点数	作品重量
令和 5 年	10 名	53 点	18,419 kg
令和 6 年	9 名	39 点	12,76 kg

(部会ほか)

R6 年 5 月 25 日総会前に部会 (議題)「秋期焼成会日程」
R6 年 10 月 27 日役員会にて秋期焼成会報告、会計報告提出

2025 年度 総務・広報 活動予定

総 務 部	広 報
4 月 26 日 (土) 15 時~ 役員会 (総会に向けて)	
4 月 26 日 (土) 17 時~ 総会	
5 月下旬 ・「友の会だより」	5 月中~下旬 (193 号) 発行
7 月下旬~8 月上旬 役員会	
8 月下旬 ・「友の会だより」8 月号の発送	8 月中~下旬 (194 号) 発行
10 月下旬~11 月上旬 役員会	
11 月上旬 ・「友の会だより」11 月号の発送 「第 46 回作品展のご案内」の発送 11/1, 2 関キャン fes. 展示・陶芸教室	11 月中旬 (195 号) 発行
2 月中旬~下旬 役員会	
3 月初旬 ・「友の会だより」3 月号の発送	2 月下旬~3 月初旬 (196 号) 発行

「総務部」より

令和 7 年度 総務部 活動予定

- 【 部員構成 】 (※は兼務)
(部長) 高橋 光男 深川 貴子
※鍋島 弘義 ※鈴木 貴久 ※井上 明
※吉川 勝 ※鈴木 和子

令和 7 年度 各部の活動予定

横 浜 陶 芸 友 の 会
2024 年度決算書・2025 年度予算書

(会報をご覧ください)

「事業部」より

令和 7 年度 事業部 活動予定

【部員構成】（※は兼務）

（部長）吉川 勝 （会計）大日方 毅
 （作品展等）吉川 勝 大日方 毅
 清水あや子 ※鍋島弘義 ※鈴木貴久

○令和 7 年度 第 46 回「作品展」

☆かなつくホール 3 階ギャラリー A

・ 1 月初旬（第一希望 1/13～18）

6 日間実施の予定（※7 月に申し込みします）

☆特設コーナー課題「飯茶碗」

☆専修部コーナー ※焼成会での作品を展示する

☆出展料 一区画（45 cm）2000 円

☆懇親会 開催する予定

※ 詳細は会報の 11 月号 発行時に同封

「作品展」関係 確認内容

・ 会場の設営 9 時 30 分より行う

・ 一般の受付時間 11 時から直接会場へ

・ 作品展の開場時間は 10 時～17 時

（搬出時は 16 時）まで

☆出展される方は **半日程度の当番**を

お願いいたします

○関東学院大学「関キャンfes」での展示

※今年度は 11 月 1～2 日に行われます

※声がかかれば、参加の方向で計画する

「専修部」より

令和 7 年度 専修部 活動予定

【部員構成】4 名

（部長）井上 明 （会計）鈴木和子
 （会場申込）中村のりこ
 （秋期焼成会）本橋昭彦 他全員
 （焼成会備品管理）井上 明

「秋期焼成会」予定

＊場所 令和 7 年 9 月（井上宅）

＊日程 9 月 28 日（日）受付予定

＊釉掛け 10 月初旬 予定

※基本的には**酸化焼成**ですが

（その他の希望にも 相談 にのります）

＊焼成料 100 g 100 円を予定しています

※ 詳細は会報の 8 月号 に載せます

「皆様へのお知らせ」

◎今年度は、専修部が預かりして
 いる釉薬の色々な材料の残りを整理
 して会報でお知らせし、皆様に使っ
 ていただきたいと考えています。

○広報部へ

＊令和 7 年 8 月発行の「友の会だより」へ

9 月予定「秋期焼成会のお知らせ」を送信

＊令和 7 年 11 月発行の「友の会だより」へ

9 月実施済の「秋期焼成会 結果報告」を送信

友の会「会則」 一部改訂

〈提案理由〉

・ 昨年度の「総会」で会則の改訂を行いました
 たが、第 9 章 財務 の第 29 条に「会計部」
 が残っていました。

「友の会会則」との整合性を持たせるため
 に、次のように提案いたします。

第 9 章 第 29 条「会計部」を「総務部会計」
 に書き換える。

〈結果〉賛成多数により可決されました。

令和 7 年度組織および役員について

令和 7 年度 組織および役員

顧問	寒河江 洋子
客員	高村 正明 松崎 紀一
会長	鍋島 弘義
副会長	鈴木 貴久
総務部	★高橋 光男 深川 貴子
広報	※鍋島 弘義 ※鈴木 貴久
(HP)	※井上 明 ※吉川 勝
含む	※鈴木 和子
事業部	★吉川 勝 大日方 毅
	※鍋島 弘義 ※鈴木 貴久
	清水 あや子
専修部	★井上 明 鈴木 和子
	本橋 昭彦 中村 のりこ

（★ は部長 ※ は兼任）



「中皿(2点)・絵付け」 透明釉 磁器土 電気窯焼成



今年の作品は、次回に向けて、まだこれのやらないと、この色がない状態なので、色をいれたい。状態のチャレンジャーとして作りました。物です。絵付けの方は、年々引き続いて、ドゥと今回エビを書いた勢いが一番。エビは勢いがある。大事かな。と思っ。てそこだけ注意して書いてみました。た。エビの下に呉須は網と歯ブラシを使って散らしてあります。



「中鉢・印花」 織部釉 ミックス土 ガス焼成
織部釉が「印花」のかけがえのない作品です。印花は、土に花を化かし、土をかけた作品です。印花は、土に花を化かし、土をかけた作品です。印花は、土に花を化かし、土をかけた作品です。



「中鉢・印花」 織部釉 ミックス土 ガス焼成
「中鉢・印花」 還元織部釉 赤 3 号 電気窯焼成
「小鉢・印花」 還元織部釉 赤 3 号 電気窯焼成

「中皿・飛びカンナ」 透明釉
ミックス土(黒化粧土) 電気窯焼成
「小皿(2点)・飛びカンナ」 透明釉
ミックス土(黒・白化粧土) 電気窯焼成



この朝鮮唐津は、思った以上にきれいな色が出てきました。



「中鉢(2点)・朝鮮唐津」 飴釉+斑唐津釉 ミックス土 ガス窯焼成

飛びカンナは今年も少しやろうかな。やと、思っています。



「大皿」 信楽赤 織部釉 ガラス釉 電気窯
「土笛(6点)」 信楽土 絵の具 透明釉 灯油窯

取っ手がとても上手にできているこの大皿は、土が赤なので織部釉を掛けたらこのように濃い緑になりました。その上に透明釉を掛けて何種類かのガラスを入れてあります。底の周りが白いのは透明釉の影響だと思います。土笛は見本をいただいたので作ってみました。もう少し鳴るように挑戦してみたい。

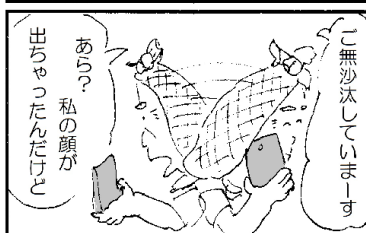
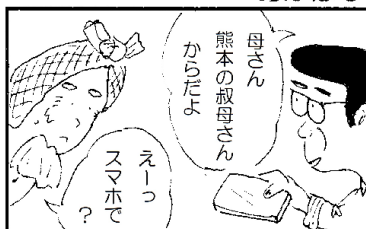


今年の作品は、土笛以外は、ガラス釉を使った物を集めてみました。

陶陶さん

第 115 号

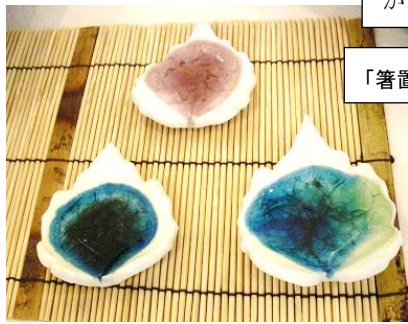
あかほし



<川島幸子さんの続きです>

「大皿」 益子赤 粉引象嵌 飴釉 ガラス釉 灯油窯

湖で泳いでいる鳥の作品も、まず粉引象嵌をして縁に飴釉を掛けて焼き、再度、青いガラス釉を入れて焼きました。土笛で鳥を作ったので浮かべてみました。ガラスを入れる前は、ちょっとしまらない作品だったのですが、まとまりました。



「箸置き(3点)」 信楽土 ガラス釉 透明釉 灯油窯

これはもう日常で使っている箸置きです。それぞれ違った色ですが、これもガラスです。ガラスも色々な色があって今回は、このガラスを使った作品をテーマにしました。



「貝皿(2点)」 信楽土 ガラス釉 穴窯焼き締め

貝の形を焼締めをして、その後透明と青のガラス釉を入れて焼いた。溶けた形が、たまたまこの様なグラデーションのきれいな色になった。

【今回の「役員会」予定】
7月26日(土) 15時から
(場所) 杉田地区センターです
※参加よろしく願いいたします

【編集後記】

・「第44回作品展」で紹介できなかった方の作品を今回揭示することが出来ました。
次回から「第45回作品展」の紹介に入ります。出来るだけ作品を大きく見やすくできるように頑張ります。

・今年も井上様のご厚意により場所と窯を借りして「焼成会」が行われます。
多種多様な釉薬があり色々面倒な釉掛けの相談にも乗っていただけます。

色々な陶芸談義も聞かれ勉強にもなります。今年も残暑が厳しいかもしれませんが、充実した時間が過ごせます。

「焼成会」に向かって作品を作りましょう。参加してみても楽しさがわかりますよ。

・今年も一年間、皆様のご協力により会報の編集に取り組みます。

よろしく願いいたします。

鍋島弘義

ホームページもチェック!!

横浜陶芸友の会

検索

http://www20.atpages.jp/tomonokai/

横浜陶芸友の会だより
第 193 号

(令和 7 年 5 月 12 日発行)
(発行人) 横浜陶芸友の会